

招集年月日	平成 29 年 6 月 13 日 (火)	午後 4 時 00 分開会
会 場	小美玉市本庁舎 3階 議会委員会室	
出席委員	岩本好夫委員長・幡谷好文副委員長・市村文男議長・野村武勝・荒川一秀・大和田智弘・戸田見成・小川賢治・福島ヤヨヒ・谷仲和雄・木村喜一	
欠席委員	なし	
説明員職氏名	なし	
職務出席者の職指名	書記 富田 成	
付託事件	①議会報告会について ②講演会について ③視察研修について	
	開会宣言 平成 29 年 6 月 1 3 日 午後 4 時 00 分	
幡谷副委員長	お疲れ様でございます。早速、地方創生まちづくり特別委員会の方を開催いたします。まず最初に、委員長から挨拶をいただきます。	
岩本委員長	お疲れ様です。議会一般質問後、お疲れの所ありがとうございます。本日の地方創生まちづくり特別委員会は8月に予定しております議会報告内容について委員のみなさまにご意見いただきながら、まとめて行きたいと思っております。また、前回の委員会で話が出ました講演会について、この辺を今日、具体的に詰めて参りたいと思っております。それと、視察研修についてです。よろしく願います。	
幡谷副委員長	続きまして、市村議長より挨拶をいただきます。	
市村議長	それでは、改めましてこんにちは。本会議に引き続いての委員会ということで大変ご苦労様でございます。ただいま委員長からありました3点についてよろしく願いたいと思っております。色々ご審議よろしく願いまして、挨拶とさせていただきます。	
幡谷副委員長	ありがとうございました。早速協議に入りたいと思っております。議事の進行については委員長お願いいたします。	
岩本委員長	<p>それでは早速協議事項に入らせていただきます。1番項、議会報告会について、皆さんのお手元に地方創生まちづくり特別委員会議会報告会と言う資料が2枚綴りであると思うんですが、これを予定しております。一読いただき、それからご意見をいただきたいと思っております。よろしく願います。</p> <p>【各委員、資料確認】</p> <p>よろしいでしょうか。ご意見ありましたらお願いいたします。</p>	
岩本委員長	各班発表者はこの中から一人ずつですが、要は委員が各班にそれぞれ入っていますから、これは、あくまでも口述書であって、市民の方から意見交換会の中で地方創生に関して色々質問もあると思うんです。そういった中で皆さんが同じ見解で同じ答えでなければいけないと思うんです。ですから、これに付随	

	<p>してどのような資料を用意するであったりだとか、また、あくまでも議会の報告会なので、限られた時間ですが、去年報告会が終わってから1年間の中で具体的な活動事例を上げたりとか、限られた3分くらいの発表時間なんで、資料として添付して見ていただくとか、資料を見れば私らも答弁できる内容であっても良いのかなと思うんですけど。そういったところもみなさんからご意見いただきたいと思います。</p>
荒川委員	<p>資料は事務局で揃えてもらえるけど、担当者を決めて、1班なら1班の人に1班なら小川さんなので、いろんな人がやってると分かんなくなっちゃう。見解が違ってきちゃう。小川さんなら小川さんが答えると。同じ人がやらないとバラバラなっちゃうんじゃないかな。</p>
市村議長	<p>一年間の開催内容があれば、配んなくても良いじゃないの。</p>
岩本委員長	<p>あと、市民の方に分かっていたきたいのは特別委員会なんで、設置した理由は書いてあるんですけど、具体的にどんな活動しているのか、研修であったりとか、バイオマスの件はこの委員会も含めて力を入れて色々調査した経緯があったりとか、ダイヤモンドシティ・プロジェクトに関わっている部分もあったりとか、この委員会として執行部に提言した4つの項目もあります。そういった進捗状況は資料として用意しなければいけないと思うんですけど。そういったことは答えられなければいけない。あとは、報告前にこの委員会のメンバーの意識の統一というか、そういった事をできればと思うんですけど。あとは、先ほど荒川委員よりあったように各班に一人発表する担当者がいますから、その方に全部任せてしまってよいのかどうか。それは、ここで決めてしまって良いのか班で決めるのか。要はあくまで議会報告会なので、班の中で決めたほうが良いのかなとも思うんですけど。発表者が全部受け持って地方創生の件は全部やるのか、想定ですけど、住民の方の質問の中には地方創生に関して委員長とか副委員長がその班にいた場合に、委員長としての見解はどうかとか、副委員長としての見解はとかいうことも想定しなければ行けないし、これは皆同じに・・・。</p>
荒川委員	<p>その時に、出たときには臨機応変に。そうじゃないと・・・。</p>
岩本委員	<p>そしたら、どうですか、口述書もこのままで良いのか、あるいは資料の方</p>
小川委員	<p>これじゃ、ダメでしょう。</p>
谷仲委員	<p>資料を拝見させていただいて、まずは、これにどこを肉付けしていくかと言う作業が必要になると思います。それと、議会報告会の発表ですが、統一した資料に基づいてどうやるかと言うのが問題だと思います。まず、地方創生まちづくり特別委員会で提言書を出しています。こちらのほうでは、羽鳥駅周辺整備事業の推進、茨城空港拠点地区の各種施策の推進・玉里地区の観光振興・自治体連携による人口増加対策の推進の提言書ですね。たとえば、この提言によって行政がこれに関する条例とか、特に3月定例会の議案2号ですね。緑地率の緩和ですとか、そういう所、あと遡ると税の優遇、まあ、3年間の税の免除、水道料金の免除とか、関連する議案がありますので、そう言うのに関連付けて</p>

	<p>こういうのにつながっていますとかを説明したほうがいいのかなど。あと、文書読むと重なる部分がありますので、なるべく要点はここだと言うのをここから抽出したほうが良いのかなというの、これを見た感想です。あとは、地方創生の総合戦略という所で、ダイヤモンドシティ・プロジェクトと言う言葉を全面に出したほうが良いのかなと思っております。</p>
岩本委員長	<p>今、谷仲委員から意見があったように、地方創生に趣旨だったりと言うのは省かせてもらって、今言った4つの提言書の内容を踏まえて執行部がどういった施策をしたかであったりとか、委員会が具体的にどのような活動をしたのかとか、そう言ったことを発表したほうが議会の活動報告にはなるのかなと思うんですけど。</p>
荒川委員	<p>それで、今、4つの提言について上がったんだけど、美野里地区の方に玉里地区の話しても中々理解してもらえないから、だったら、羽鳥駅のことを重点的にやってもらうとか、地区ごとをお願いしてやってもらったら良いんじゃないの。</p>
岩本委員長	<p>そうすると、各班の担当が口述書作ると言うこと。</p>
荒川委員	<p>そう。ある程度これをたたき台にして、作ってもらって、どうですか。</p>
小川委員	<p>これは、統一した資料を作ってもらって、地方創生の委員が同じ内容を各会場で発表しないと。それで、質問を受けた場合に委員会として、議会としての答えをみなさんに説明すると。ということだと私は思います。だから、提言の内容をちゃんと資料作りしてもらってね。</p>
野村委員	<p>玉里だから、玉里の内容やるという必要はないよ。質問があれば答えられる人がカバーするだけ。</p>
大和田委員	<p>質問があればね。そのときには答えれば良いよね。</p>
荒川委員	<p>皆ばらばらに答弁してもしょうがないから、誰かが代表してやってもらえれば。</p>
岩本委員長	<p>では、ちょっとまとめますね。口述書の方は、先ほど谷仲委員から出た意見で4つの提言を推進させることによって、執行部がこういう予算を付けましたであったりとか、そういうことをメインに発表するということで。</p>
戸田委員	<p>この文書は現案として出来てんだよね。そこにいちゃもん付けるわけではないけど、私は産業基盤の整備というのが大事だと思っていて、もちろん農業は大事だよ。だけど、色々な企業を活性化させる。そこへ人が流入する。税金が入る。これが街の基本だと思うんだよね。産業基盤を整備するというのは、そこで人口増の問題もそこへ出てくる。このまま、人口増の問題だけ出しても、私は理解できない。だから、基盤を大事にして街の安定を図っていく。そして、そこへ人口増を図っていく。そう私は理解しているんだけど、これだっけかまわらないけど、だから、この観光振興の所に産業を並べて書いていただいても良</p>

	いのかなと。やっぱり産業基盤は欠かせないんじゃないかなと。
野村委員	戸田委員。私はいつも思っているんだけど、産業で良い工場を作るって言う話をよくするんだけど、土地を市で買うのか、開発公社みたいなもので土地を確保するのか、そこら辺。今開発公社作ってやるって言うのは中々できない。市だけでは無理だと思う。だから、工場を誘致するにはどういう方法が良いのか、金が掛からない方法で、今、土地なんて持ってもしょうがないと言う人もいるんだから。前にも話したけど、区域をひとつ作って、そこはいつでも農転出来るとか、そう言うことを市に要請してここは10町歩まとめようよとか、ここは工場用地にしましょうよとか、買わなくても調査して地主さんと調整して、売れますかとか、代替地があれば良いですよとか、そう言う意見を地主さんと調整しておけば楽なんだよな。金かけないでな。
戸田委員	市が調整役になれば良いんですよ。やっぱり。
野村委員	だからそう言う方法で、場所を皆で検討しながら市のほうに話をして、そうすれば農振地区でも今から外れるだろうと思うんだよね。そうしないと工場誘致と言っても。
荒川委員	あれ、羽鳥の並木の所に工場適地と言うのを作ったんだよな。
岩本委員	ちょっとすみません。議会報告会のほうで。まず、資料と口述書のほうです。口述書の方はこれを元にして、内容は4つの提言について、執行部が推進して行く上でこういう事業がなされましたとか、こういう予算がつかましたとかを、そろえていただくこと。それに付随した資料かな。それと、議長が言われた各委員会ごとの検討内容だったりとか、そういったものを各位委員が持っていれば、この時期こんなことしましたよ。なんていうことも答弁しやすくなると思うんですね。
谷仲委員	報告とか質問、意見交換に対することは2本立てになるかと思います。そこで資料の方は先ほど委員長が言われた通り、各自持ってきていただいて、あと、これは私たちの委員会だけではないんですが、議案書、予算決算書は必要になってくるかなと思います。それぐらいあれば言いのかなと私は思っています。
岩本委員長	そうすると、委員会資料と議案書、予算決算書は各自持ってきていただいて。
谷仲委員	そうすれば、詳細なやり取りにも対応できると思います。
岩本委員長	はい、分かりました。これは地方創生まちづくり特別委員会に限らず、出席する議員は皆、議案書、予算書、決算書は持っていくという形で、まあ、これは議改改革のほうで全協あたりで言ってもらえれば良いのかなと思います。それでは、地方創生まちづくり特別委員会の報告会内容については、口述書を訂正させていただいて、その内容については4つの提言書に対する執行部の対応であったりとか、こういう予算がつかました、こういう事業が成り立ちましたということ口述書の中に盛り込ませていただきたいと思います。あと、各委員が持つ当日の資料としては、何月何日の委員会資料ということで。では議会報

	<p>告会について他に大丈夫ですか。</p> <p>【「なし」と呼ぶものあり】</p> <p>では、2番項、講演会について、これは先の委員会のほうで野村委員の方からありました、茨城大学の副学長ですね。地方創生に関しては権威の方だと伺っております。それで、講演をお願いするに当たって何を話すのかって言う話しになりますし、小美玉市のまちづくりや地方創生について講演してもらうにあたって、こちらから資料を用意する必要があると思うんですけど、むしろアポをとっていただいて資料が必要ですかって言う事を確認していただいて、必要な資料をこちらで用意させていただいて、テーマはこちらで決めさせていただいて、それで講演をしていただくと言うのはどうでしょうかね。あとは、場所、報酬もあるので。議長これどうしましょう。特別委員会報酬を出すと言うこともできないでしょう。だから、議長名で議会として・・・。</p>
市村議長	これは、議会としてやらなければおかしいよ。
岩本委員長	では、そういう形で進める方向で議員全員が出席できるような形で講演会として。
市村議長	これは、議会議員と限らず、ある程度幅を持ってやってもいいんじゃない。
岩本委員長	<p>であれば、ダイヤモンドシティ・プロジェクトに係っている若手の職員さんであったりとか、そのような方たちにも出てもらうのも良いかもしれない。では、そういう形で進めさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>「はい」という声あり</p> <p>ありがとうございます。</p>
小川委員	じゃあ、時期と場所は後だね。
岩本委員長	そうですね。今日この場では、やるという方向で。今後事務局と調整させていただきます。続いて3番項、視察研修について。視察場所として群馬県の「川場村」、そして、「株式会社まちづくり青梅」東京の青梅市ですね。こちらのほうでと言うことで決めさせていただきました。事務局より説明をお願いいたします。
富田書記	視察研修についてご説明いたします。今回、総務常任委員会と合同視察と言うことで調整させていただいております。まず、視察地ですが、群馬県川場村の「都市交流事業」と東京都青梅市の「株式会社まちづくり青梅」の2箇所を予定しております。参考までに視察先の概要等が分かる資料を配布させていただきました。後刻確認していただければと思います。次に、日程ですが、9月27・28・29日 と10月11・12・13日2案で、それぞれの議会事務局と調整させていただきたいと考えておりますので日程の確保をお願いいたします。日程が決まり次第、委員のみなさまにお知らせしたいと考えておりますのでよろし

	くお願いいたします。以上でございます。
岩本委員長	それでは、視察場所等にご異議がなければ、日程については案の中から先方と調整して定例会最終日までにみなさんにお知らせしたいと思えます。それから、谷仲委員、議会報告会の報告内容の特別委員会への提出の締切はいつだっけ。
谷仲委員	6月の28日です。
岩本委員長	<p>であれば、もう一度みなさんに目を通してもらう必要があると思うんです。定例会中のほうが改めて集まらなくて済むと思うんですけど、28日までにもう一度委員会をやるのか、もしくは正副委員長に任せてもらえれば、事務局と正副委員長で調整をして、決まり次第皆さんには何らかの形で報告させてもらうという方法。いずれにしても28日までに議会改革の特別委員会に提出しなければならないので。</p> <p>【「他の委員会もそうなの」と呼ぶ声あり】</p> <p>そうです。では、正副委員長と事務局で調整をさせていただいて、正副委員長で責任を持って提出すると言うことで、任せてもらって良いですか。</p> <p>【「異議なし」と呼ぶ声あり】</p> <p>では、そういう形で議会改革には迷惑かけないように28日までに提出させていただきます。では、皆さんの方からその他で何かありましたらば。</p>
野村委員	その他で、川場というのは世田谷と交流しているということで、委員長にお願いしたいんですけど、常陸太田に友達がいるということで、災害協定をどのように組んでいるのか、新聞に載っていたけれど、それを調べておいてくれな
岩本委員長	分かりました。
荒川委員	災害協定を結ぶのは良いよな。
岩本委員長	災害協定をやっているようで、どういう経緯でどういう内容なのか調べさせていただきます。次回の委員会で報告させていただきます。
野村委員	それがあれば、執行部の方でも、イトウ製菓ならイトウ製菓に北区に本社があるということで、こういうことを市でやっているから、中に入ってやってくださいとお願いができると思うんだよな。ただ、災害協定を結ぼう結ぼうと言っても、ひとつのたたき台がないとできないと思うな。
岩本委員長	はい、分かりました。ありがとうございます。では、その他、委員の皆さんから何かございましたら。

各委員	「なし」という声あり
岩本委員長	では副委員長にマイクを渡します。
幡谷副委員長	以上で、地方創生まちづくり特別委員会の方を閉会といたします。お疲れ様でした。
	閉会 午後4時37分